



「ゆめあるて」の門出晴れやか

秋晴れの下、来賓と関係者によるテープカット



第 645 号
発行人●豊丘村公民館 唐澤克己
編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
(11月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,415人
女 3,517人
総人口 6,932人
世帯数 2,096戸

地域発展の切なる願いと込め 10月25日、交流学習センターの竣工式

名実ともに 人づくりの拠点に

豊丘村長
下平喜隆

交流学習センターの竣工式が、十月二十五日に、宮下一郎国會議員など来賓の方々を招き、盛大に挙行されました。当日はのどかな秋の好日で、建設関係者をはじめ、公民館の登録グループ会員も多数参集し、晴れやかに新施設の完成を祝いました。式典は、玄関先でのテープカットの後、木製の壁がしっとりとした落ち着いた雰囲気を醸し出す大ホールで行なわれました。村民の様々な願いが込められたこの施設が、人づくりや地域づくりの拠点となり、発展する村のシンボルになっていくよう期待するものです。

澄んだ歌声、ダイナミックな演奏

——芸術の香り豊か、とよおかコンサート

演奏者合唱で 会場が一体に

とよおかコンサート
実行委員
大原俊秀

十月二十五日の午前中は、「ゆめあるて」の竣工式と、豊丘村歌の歌碑の除幕式が厳かに行なわれました。そして午後からは「とよおかコンサート」が盛大

に開催されました。今回は、合唱団「まい」による合唱と、サクソフォーンカルテット「桜」による演奏です。最初は、合唱団「まい」のコンサートで、男女混合二十名くらいで構成されています。全日本合唱団コンクールに初出場で金賞を受賞し、以来全国大会十回出場して六回の金賞を受賞しています。オープニングでは「信濃の国」が合唱されました。ハーモニの美し

さが響き、心に染み込むような気がしました。「朧月夜」「紅葉」「赤とんぼ」と、どれも知っている、今の季節にマッチした歌も合唱してくれましたが、どの歌も懐かしさ、心が洗われるような気がして感動しました。次にサクソフォーンカルテット「桜」のコンサートで、四人の見目麗しき女性達で、第五回のルーマニア国際コンクール室内楽部門で第二位を受賞されていま

す。オープニングでは、「H A R U K A Z E」を演奏され、さわやかで何か新しいことが始まりそうな、わくわくした気持ちの伝わるような曲でした。リクエストコーナーでは、おなじみの「ミッキーマウス」等三曲ほど演奏され、最後には震災復興記念曲「花は咲く」でした。これは、豊



「桜」と豊丘中吹奏楽部とのコラボに会場うっとり

丘中学校吹奏楽部との合同演奏で、合唱団「まい」も再登場して加わりました。演奏と合唱で会場が一体になり、最高の盛り上がりでした。私も感激で一杯になり、思わず目頭が熱くなってきました。音楽は心に栄養と潤いを与えるオアシスみたいなものではないかと思ひます。

先輩諸氏のご苦労の賜と厚くお礼申し上げます。ご存知のように、J R 東海によるリニア中央新幹線の工事国による正式な認可が下り、いよいよ本格化していきます。豊丘村の位置する伊那谷は、このリニア開通や、三遠南信道の開通によって、日本一の将来性、もしかすれば世界一の

将来性も秘めています。こうした中で「ゆめあるて」は村の新しい文化や教育、人づくりの施設としてオープンしたわけです。いつの時代にも地域の活力の源は、住民が自主的に集い、学び、コミュニケーションを高めることから始まります。将来性豊かな豊丘村を、未来に向けて、さらに元気に、賢い村にするために、村民全員がこの交流学習センター「ゆめあるて」を有効に活用し、名実ともに、村の文化、芸術、教育、人づくりの拠点にしていくことを希望いたします。

段丘

今私達に求められているのは、「体力」ではないだろうか。子供は、年齢と共に知恵がつき、それに伴って体力をつけさせるのが父母。幼児が一つのことを達成すると、家族全員が歓喜し、拍手して喜ぶ。それから数年過ぎると、子供は自分で目標を持って行動し、それからまた次の目標に向かって進む。体力も増す。親はそんな子供を見て、「大きくなったなあ」と思う。

しかし、数年過ぎると、子供にはテレビやゲームという落とし穴が待っている。親が気付いた時には、外遊びが減り、体力も落ちてくる。これは家庭の責任か、それとも学校の責任か。今の世の中、未満児から他人に託して働きに出る。一昔前までは考えられなかった。時代が変わったとは云え、悲しい。体力がなくなるとは、能力や知恵の発達も遅れてしまう。子育ても、他人の考えに乗るのではなく、自分で考え工夫してできた時が本物。本物の喜びを味わってほしい。

高齢者は週一回以上運動している人が七割と、健康への意識が高い。逆に子供の体力は低下傾向。特にボール投げが苦手な子供が増えている。ボール投げには技術がいる。体力・能力の活性化には「早寝早起き朝ごはん」。そして何よりも「おはようございます」で、一日の第一歩を、心にスイッチを！

(鹿角勝二)

文化祭作品展
村の文化芸術が一堂に会し
新しい公民館を華やかに飾る



じっと見ていると制作者の思いが伝わってきます

文化祭作品展が、十一月二日から九日まで、新しい公民館の交流学习センターで開かれました。グループ作品から個人出品の作品に至るまで、文化芸術の香り高い力作が展示され、来場者の目を惹きつけました。どの作品にも制作者の意欲と情熱が込められており、見応えがありました。

また、十一月八日と九日にはとよおかまつりが開催され、十六の公民館グループがステージ発表を行いました。どのグループも日頃の研鑽の成果を十分に発揮し、見栄えがしました。

今年も「とよおかまつり」が盛大に行なわれました。私達押し花クラブでは、「とよおかまつり」に合わせて開催される公民館文化祭作品展に毎年、額数点と、豊丘南小学校の四く六学年の「押し花クラブ」児童の皆さんの小物作品を展示させていたでいております。

通常は、月一回程、公民館で、講師の先生と五名のクラブ員で和気藹々作品を制作しています。主に文化祭作品展に向けて取り組んでいます。自分達で押した花で、「どんな作品にしようか?」「こういう作品にしようか?」という作品に綺麗になりました。豊丘の皆

「今年も「とよおかまつり」が盛大に行なわれました。私達押し花クラブでは、「とよおかまつり」に合わせて開催される公民館文化祭作品展に毎年、額数点と、豊丘南小学校の四く六学年の「押し花クラブ」児童の皆さんの小物作品を展示させていたでいております。

通常は、月一回程、公民館で、講師の先生と五名のクラブ員で和気藹々作品を制作しています。主に文化祭作品展に向けて取り組んでいます。自分達で押した花で、「どんな作品にしようか?」「こういう作品にしようか?」という作品に綺麗になりました。豊丘の皆

「今年も「とよおかまつり」が盛大に行なわれました。私達押し花クラブでは、「とよおかまつり」に合わせて開催される公民館文化祭作品展に毎年、額数点と、豊丘南小学校の四く六学年の「押し花クラブ」児童の皆さんの小物作品を展示させていたでいております。

通常は、月一回程、公民館で、講師の先生と五名のクラブ員で和気藹々作品を制作しています。主に文化祭作品展に向けて取り組んでいます。自分達で押した花で、「どんな作品にしようか?」「こういう作品にしようか?」という作品に綺麗になりました。豊丘の皆

「今年も「とよおかまつり」が盛大に行なわれました。私達押し花クラブでは、「とよおかまつり」に合わせて開催される公民館文化祭作品展に毎年、額数点と、豊丘南小学校の四く六学年の「押し花クラブ」児童の皆さんの小物作品を展示させていたでいております。

通常は、月一回程、公民館で、講師の先生と五名のクラブ員で和気藹々作品を制作しています。主に文化祭作品展に向けて取り組んでいます。自分達で押した花で、「どんな作品にしようか?」「こういう作品にしようか?」という作品に綺麗になりました。豊丘の皆

「今年も「とよおかまつり」が盛大に行なわれました。私達押し花クラブでは、「とよおかまつり」に合わせて開催される公民館文化祭作品展に毎年、額数点と、豊丘南小学校の四く六学年の「押し花クラブ」児童の皆さんの小物作品を展示させていたでいております。

通常は、月一回程、公民館で、講師の先生と五名のクラブ員で和気藹々作品を制作しています。主に文化祭作品展に向けて取り組んでいます。自分達で押した花で、「どんな作品にしようか?」「こういう作品にしようか?」という作品に綺麗になりました。豊丘の皆

「今年も「とよおかまつり」が盛大に行なわれました。私達押し花クラブでは、「とよおかまつり」に合わせて開催される公民館文化祭作品展に毎年、額数点と、豊丘南小学校の四く六学年の「押し花クラブ」児童の皆さんの小物作品を展示させていたでいております。

通常は、月一回程、公民館で、講師の先生と五名のクラブ員で和気藹々作品を制作しています。主に文化祭作品展に向けて取り組んでいます。自分達で押した花で、「どんな作品にしようか?」「こういう作品にしようか?」という作品に綺麗になりました。豊丘の皆

とよおかまつりステージ発表

熱演!! 演者と観客が一体に

文化祭作品展が、十一月二日から九日まで、新しい公民館の交流学习センターで開かれました。グループ作品から個人出品の作品に至るまで、文化芸術の香り高い力作が展示され、来場者の目を惹きつけました。どの作品にも制作者の意欲と情熱が込められており、見応えがありました。

我が子のように
愛しい作品が
押し花クラブ
久保田さと子

今年も「とよおかまつり」が盛大に行なわれました。私達押し花クラブでは、「とよおかまつり」に合わせて開催される公民館文化祭作品展に毎年、額数点と、豊丘南小学校の四く六学年の「押し花クラブ」児童の皆さんの小物作品を展示させていたでいております。

通常は、月一回程、公民館で、講師の先生と五名のクラブ員で和気藹々作品を制作しています。主に文化祭作品展に向けて取り組んでいます。自分達で押した花で、「どんな作品にしようか?」「こういう作品にしようか?」という作品に綺麗になりました。豊丘の皆



豊丘太鼓シニアの方々の力強い演奏です

和太鼓の魅力は、何と云ってもあの勇壮な音にあります。獅子舞や屋台獅子などの日本の伝統芸能に太鼓はなくてはならない物です。国技の相撲にも櫓太鼓があり、人寄せのために打ちならす寄せ太鼓等は古くから親しまれてきており、今日更にその良さが見直されています。

和太鼓のグループは近隣市町村にも数多くありますが、豊丘太鼓は平成九年に結成され、公民館の一グループとして今日まで「とよおかまつり」のオープニングを務めるなど数多くの

実績を残してきました。又小学生を中心とした子ども連も広く活動して来ているので更に幅広くというところで、平成十八年豊丘太鼓シニアが立ち上がりました。六十歳以上を原則に、結成八年目となった今日、メンバーは女性七名、男性三名で楽しんでいます。練習は月二回（第一と第三水曜日夜）村民体育館太鼓ルームです。豊丘太鼓のベテランメンバーを指導者をお願いし、高齢者でも対応できる覚え易いし動きも無理なくできるものに取り組んでいます。一年に一二曲位マスター出来るようにと励んでいます。残念ながら若い人の中にはいきません。覚えるのが遅く、忘れるのが早いのが高齢者シニアの宿命ですから。身体は高齢者でも気だけは若く、シニアのユニフォームはピンク色のTシャツです。とよおかまつりと敬老会での演奏が定着していますし、時にはノミニュケーションも取り入れて楽しく叩いています。

和太鼓のグループは近隣市町村にも数多くありますが、豊丘太鼓は平成九年に結成され、公民館の一グループとして今日まで「とよおかまつり」のオープニングを務めるなど数多くの

和太鼓の魅力は、何と云ってもあの勇壮な音にあります。獅子舞や屋台獅子などの日本の伝統芸能に太鼓はなくてはならない物です。国技の相撲にも櫓太鼓があり、人寄せのために打ちならす寄せ太鼓等は古くから親しまれてきており、今日更にその良さが見直されています。

和太鼓のグループは近隣市町村にも数多くありますが、豊丘太鼓は平成九年に結成され、公民館の一グループとして今日まで「とよおかまつり」のオープニングを務めるなど数多くの

和太鼓のグループは近隣市町村にも数多くありますが、豊丘太鼓は平成九年に結成され、公民館の一グループとして今日まで「とよおかまつり」のオープニングを務めるなど数多くの

和太鼓のグループは近隣市町村にも数多くありますが、豊丘太鼓は平成九年に結成され、公民館の一グループとして今日まで「とよおかまつり」のオープニングを務めるなど数多くの

シリーズ「元氣な高齢者」

健康の
秘訣
早寝早起きと
規則正しい生活

健康で長生きすることは万人の希望です。その意味で、元氣な高齢者の方々の生き方や日々の過ごし方は大変参考になります。

池野正興さん
九十歳
南市場在住

田村新道で自転車店を営む父の元で生まれ育ち親子で百年の操業を誇った。昭和十七年に大町の軍需工場に徴用され約二年半勤めた後、十九年に二十歳で徴兵され、宇都宮に集合し

僅か一週間で再び汽車に乗せられ博多、朝鮮を経て支那に派遣され戦車師団に入隊した。どのように移動したか記憶は定かでは無いが、敗戦後に訪れた北京で戦地入り後初めて電氣を見て、とても感慨深く感じた。昭和二十一年に復員兵として佐世保港に着き、その後田村で自転車店の手伝い

保有事の修理一切を引き受けていた。時には奥深い山間地で雪の降る中、立ち往生した車への緊急要請を受け出向き、やつの思いで該当車に出会うことができ無事任務を遂行できたことも懐かしい思い出である。愛犬を連れての散歩は雨の日も雪の日も行う楽しい日課となっている。又自動車の免許を返上してからは、専ら愛用の自転車で用足しをしている。

早寝早起き、規則正しい生活、若い頃のスポーツで鍛えた体、散歩、自転車乗り、家周りの庭木の手入れなどが健康の秘訣と感じました。そして奥様の明るく献身的な支えがあつての現在と思います。

文責 日下部富次
桐崎 長一

をする傍ら、引きこもりになった戦場の先輩を誘い出すよう頼まれ努力する。傷心して復員してきた友人達と、急速に人気が高まった野球チームを作り神稲小学校で練習を始めた。メキメキ上達したチームは南信地区代表として約五年間活躍した。六十歳を過ぎソフトボールに転向してからは上達欲の高まりと共に、時には本業を忘れるほどに練習・試合に打ち込んだ。二十五歳の長きに亘った成果として「ねりんピック」では県代表として宮崎、北海道、四国の大会に三回出場。その他全国各地の大会に参加してきたことは誇りであり大きな勲章と思っている。

本業の自転車、バイクの業においては豊丘郵便局の

待望の松尾多勢子の小説

「火桜が根 幕末女志士 多勢子」完成

是非購読を
筒井良二
教育長

飯田市出身の著名な小説家藤本ひとみさんが松尾多勢子のことを四百五十ページにもわたる歴史小説として書き上げてくれました。題名の由来は、三三八ページにある「自分は伊那谷で勤皇の根になろう。勤皇の志士は死ぬにしても、ただ散るのではない。火のように燃え、この世にその焼き

跡を残して散る火桜なのだ。自分は伊那谷で、その根になろう。」という一節からです。

ご承知のように松尾多勢子は、幕末期に本村の生んだ尊皇派女性志士です。平田派国学者で、夫の許しを得て、一八六二年（文久二年）に勤皇の志に燃えて、五十二才で単身上洛した多勢子は、宮中に「歌詠

み唄」として入り込み情報収集に努めました。そして、長州の志士とともに尊皇攘夷運動に参加しました。時には、不遇をかこつ岩倉具視に直談判し、久坂玄瑞ら多くの志士から慕われました。しかし、足利三代木像首首事件で幕府に追われ、帰郷しました。帰郷後は勤皇志士をかくまい、天狗党の乱を影ながら助けました。そして、一八六八（明治元）年には、岩倉具視の要

歴史の悲しい現実学ぶ

―ふるさと探訪で満蒙開拓平和記念館訪問

十月十九日に「ふるさと探訪史跡めぐり」で、阿智村にある満蒙開拓平和記念館を訪ねました。現地への往復の車中で、実際に満蒙開拓を体験された河野の久保田諫さんに当時の様子を話していただきました。罪なき善良な人々が、国策次第で被害者にも加害者にもなってしまうという歴史の悲しい現実を学びました。私たちはこの現実をしっかりと受けとめ、この教訓を現在や未来に活かすことこそ大切であると思います。

平和について

考えた日

公民館社会部長
三澤 学

十月十九日は、平和について考える日になった。それは、満蒙開拓について、歴史について改めて考えさせられた日になったからです。歴史には三つのものがある

と思います。一つ目は、学校で学んだ歴史、二つ目は、語り継がれた歴史、三つ目は語り継がれなければいけない歴史です。この満蒙開拓の歴史は私たちが語り継がなくてはならない三つ目の歴史だと思っています。「満蒙開拓団」として満州に渡った人は二十二万人、そして、出身県別のトップは長野県で三万一千人が渡っている。全体の十四パーセントを占めています。

それに、青少年義勇軍を合わせると三万七千人の人が渡っています。その人たちは、敗戦で「地獄の逃避行」になり、最後は収容所等に入れられたが、何とか生き延びて、舞鶴に戻ってきた。だが、半数の人が亡くなった。

満蒙開拓団の証言者久保田さんが当時の話をしてくださった。襲撃、飢え、発疹チフス、子どもを河に投げ捨てる、それに、集団自



戦争の悲惨さと平和の大切さを身にしみて感じました

決…。お話から「生き地獄だった」というのが聞こえてきた。

拓団の悲劇は、多くの移民を出した下伊那に生活する一人として後世に語り継がなくてはならないと感じました。

平和について考える日を企画していただいた方々に感謝します。

資料館主任
唐澤 武彦

「ゆめあるて」の竣工に合わせて開催しました資料館特別展「片桐白登作品展」にはたくさんの方々にご来場いただきました。誠に有り難うございました。郷土の生んだ片桐画伯の「南

こちら資料館 ⑭

白登作品展 大盛況

画の世界」を十分味わっていただけたものと思います。一週間という短い期間でしたが、参観者の延べ人数は六百余名にもなりました。その中には飯田市や伊那市、遠くは東京など村外から来た方も多数みられ、片桐白登の人気の高さを改めて感じました。また、展覧会初日に行われた飯田美博の滝澤館長の講演は、墨や絵



飯田美博の滝澤館長の講演

の具、紙など様々な画材を生かした画伯の巧みな技法について一つ一つの作品の前で具体的にお話くださり「絵の観方」に目を開かされた思いがしました。

さて、今回の展覧会を企

画するに当たり特に留意した点は次のことです。皆さんもご存じのように、豊丘村は、村長室の入口に掲げてある『燦華』（孔雀の大作）をはじめとしてたくさんさんの白登作品を所蔵しています。また、平成二〇年にはご遺族から画伯の遺品が数多く村に寄託されました。その中には、作品のものと

覧会がさらに充実したものになるよう『回春図』（六曲一双の大作）をはじめ個人所有の画伯の代表的な作品をお借りすることも併せて行いました。

期間を通して、参観の皆様からはたくさん感想やご意見をいただきました。それらを参考にして、資料の活用や保管方法等について検討して参りたいと思います。また、スケッチブックについては、資料館で閲覧できます。ご希望の方はお申し出下さい。

最後に、今回の展覧会にご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。有り難うございました。

原木門チーム代表

片桐 勝義

平成二十六年度「丘リーグ」優勝おめでとう。

選手みんなをほめてやりたい。怪我もなく、不戦敗もなく試合ができたのは、選手全員の協力があつたからこたと思っている。せっかく出てきたのに、試合に出させてもらえなかったと

悔しがった者もいるかもしれない。参加することに意義がある。これも良いでしょうが、もう一つ加えてほしい。参加することに意義があり、全員を使って勝ちにいく、これが私のモットーです。

チームが若くなり、一時はチーム名も新しい名前に変えようとみんなで相談したところ、先輩たちが引き

りました。選手はほとんどが息子くらいの年齢といつても過言ではありません。そんな中で一人年寄りがガンバッテいます。チームの中に入れば皆同じ年だと思っ

選手の年齢は、下は二十歳くらい、上は六十四歳の私です。原木門チームの良いところは、不戦敗がほとんどないことです。私の記憶では、今までに二、三回くらいだと思っています。試合が終われば毎回反省会、要するに飲み会を開き、交流を深めています。原木門は以前は強いチームでしたが、若返り

近年賞から遠のいていました。久しぶりの優勝で、今年の忘年会は盛り上がるでしょう。来年もよろしく！六十五歳、ガンバリマス。

大会結果

豊リーグ

- 1位 オール南
- 2位 御手形クラブ
- 3位 伴野クラブ
- 丘リーグ
- 1位 原木門
- 2位 豊林
- 3位 河野匠



表彰された上位チームの代表

生きる世界の広がり

10月18日、慈恵園祭行なわれる

慈恵園職員

古田 迪子

今年第十八回を迎えた慈恵園祭も、協賛して下さった各方面の皆様、足を運んで下さった地域の皆様方に支えられて盛大に催すことが出来ましたことをここに感謝致します。

私自身昨年は勤続一年目で先輩職員の指示を遂行することにだけに終始し余裕がなく終わってしまいました。

たが、今回は配役があつたことで自主的な参加となり、関わって下さる地域の方々のお蔭で子ども達の生活にめり張りや彩りが加わるのだと痛切に感じました。家族と離れて暮らす子ども達の毎日はとかく単調なものになりがちですが、節目ごとの行事や外部の方々との関わりで、そこには人との繋がりがや生きる世界の広がりが加わり、子ども達に生きるための意欲や将来への

希望を与えてくれるのではないかと思います。当日は子ども達も早朝からの準備に始まり店番や昨年の東日本大震災の募金に代わって県内で心臓移植手術の為に寄付を願う女の子を応援する募金活動をするなど、一人ひとりがとても有意義な一日を過ごすことができた様に思います。やがては慈恵園を退園しそれぞれの道に進む子ども達ですが、こ

の活動が必ず自身を助ける貴重な経験となるに違いありません。ぜひ来年度の活動についてもご協力を頂き子ども達の成長を見守っていただければ幸いです。



大勢参集し、のどかに和やかに

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.133

リンドウ（リンドウ科）



十月十八日、阿南町富草でツクツクボウシの声。十一月三日には豊丘村で九種類のトンボ（オオアイトトンボ、オスネントンボ、ホソオスネントンボ、ミヤマアカネ、アカアカネ、ナツアカネ、マユタテアカネ、ヒメアカネ、キトンボ）を確認。「地球温暖化」の影響、だとは思われないが…。

さて、今月はリンドウ科のリンドウを紹介する。「日本の野草」（山と溪谷社）によれば、種類によって生息地の表記が微妙にちがう。

出生

子氏名 届出人 自治会

久保田 紬 啓治 中部

松下 美香 昇 豊丘団地

10月1日から
10月31日まで
(届出分)

婚姻

清水 靖貴	小園
串原 明子	飯田市
佐藤 進	小園
佐々木 淳子	高森町
清水 達也	高森町
片桐 ちはる	北村
片桐 信	柿外土
岡本 真依	愛知県

死亡

宮下 奏佑	柿外土
池野 花音	北市場三
古澤 優月	山田
清水 靖貴	小園
串原 明子	飯田市
佐藤 進	小園
佐々木 淳子	高森町
清水 達也	高森町
片桐 ちはる	北村
片桐 信	柿外土
岡本 真依	愛知県

（豊丘川柳クラブ豊柳会）

▼課題「響」 興津幸代 選

復興へ手と手歌声響かせる 原 美風

杖の鈴響かせ仰ぐ富士の山 市沢 照子

趣味仲間心と心響き合う 林 桃子

▼課題「紅」 興津幸代 選

御嶽は紅葉の時季になぜはせる 宮島 昭三

紅の帯弾ませ子供神輿行く 宇井恵美子

勝ち抜いて深紅の旗を高く振る 桃沢 健介

勝負の日紅は濃い目に引いて立つ 久保ひろし

軸吟：紅筆も弾むあなたに逢える朝

▼自由吟 桃沢健介 選

台風よ呼びもしいにまた来たか 吉川 燎

柿の実がたわわ伊那谷活気づき 福沢 勝美

出よ出よと米収穫時白眺む 小澤 凜

誘い合う仲間があつて老いの幸 西元 峯子

軸吟：相次いで目玉閣僚ボロを出し

「笑顔でいっぱい！ラプリー♡でとつてもハードな90分！」キャッチフレーズをつけたらこんな感じの親子体育あそび、名付けて「親子ゆうえんち」を、ふるさと大使の丸山克俊先生を講師に行ないました。これは、村の四季大学で保育園の参観日をコラボして行なったものです。広い体育



笑顔いっぱい、ラプリーでハードな90分でした

「健康ウォーキング」は雨天中止

十月二十六日に、第一分館（河野区）、第二分館（田村区）、第三と第六分館（林区）、第七分館（福島区と王生沢区）の四地域で運動会が開催されました。当日は午後にも多少雨がばらつきましたが、幸い大きな支障もなく、各地域ともに大勢の参加者があり、盛大に実施できました。運動会は地域住民の大半が集う一大イベントであり、日頃疎遠になりがちな住民間の親睦と交流を図るには、絶好の機会

「子どもに対して遊んでやっている」という気持ちは今日から捨てて、人生の中で今しかない子育ての時期を自分が楽しませてもらっている」と思つて接して下さい。子どもにとってお父さんお母さんに遊んでもらった思い出は一生の宝物になることでしょう。

松茸のこぼれ話に耳聴く
帯留めのルビーの如き笑栞榴
この里に縁重ねつ十三夜
木犀の香に思ひ出は昭和なり
新松子こころ静まる多賀大社
どうだんの寒さ増すたび燃えさかる
秋しぐれ時間に追はれ夫介護
月食をかすめ飛行の灯の速し
台風過ぎて安堵の林檎畑
妻と来て白駒の池早紅葉
秋彼岸過去帳今に辿りをり
秋聲のアルプスホルン上高地
道端に立ちあがり咲く帽子花
象の鼻ゆらりゆらりと九月尽
土染みし運命線や夕の鵲

（八日会）

噴火など思いもよらぬ御嶽さん去年にうからと昼寝せし山 河原 梨花

大根の畑に蛇の屋ねせり草取り中止のひるさがりかな 吉沢 新子

柿も熟し秋深まれば落葉掃く姉さんかぶりの母思いだす 松島 八重

夕ぐれに親にはぐれて鳴く子猫思わず抱きあげあたりをさがす 織田大原

朱の色日増しに濃くなる満天星の午後の日差になおきらめきて 紅 梅

（あしたば短歌会）

「あしたば」の名に誘われて仲間入り飽きることなき歌詠める日日 原 誠

敬老の日孫からの贈り物スカイツリーを拡大鏡にて追る 壬生 千春

涼しいね話し相手の秋風に背中押されてまたひと仕事 北澤 秀子

紫陽花は夏日の傷を花毬に残して今日も色変えて咲く 毛涯百合子

人は皆それぞれの思い持ちて生く佳きことあれと敬老の日迎ふ 大倉 知江

糸吐きて己が柩を造り終へ蚕はしづかに蛹となりぬ 福澤 岳仙

十月十八日に村民体育館で、保育園児の親子を対象に、とよおか四季大学秋季講座が開催されました。講師の丸山克俊先生（東京理科大）は、「人生の中で今しかない子育てを楽しむことが大切」と、発想の転換を示唆されました。何事も楽しめば効果も上がります。

クで、驚きながらも楽しくできました。これからはお父さんにやつてもらいます。（笑）ちゃんと子供と向きあつていくのは大事だなと思いました。「あんなにダイナミックに遊ぶ事がなかったの、子供達も楽しそうで大喜びでした。親もなかなかの運動量で汗をかき次の日は体が痛かったです。」土曜日の運動教室楽しかったようで、家に帰ってきてから「お父さん、ジェットコースターやろうよ。」とさっそく遊んでいました。「な

ど、親子のふれあいを楽しんでくれた嬉しい声がありました。なかなかハードで、筋肉痛に悩まされた方も多かったようです。子育ては体力勝負！若くなくてはできないなあと感じました。

親子ゆうえんちの後は、保護者の方のみ「子どもの自立（律）性を育てるために」と題するミニ講話を受講しました。講話の中で

「子どもに対して遊んでやっている」という気持ちは今日から捨てて、人生の中で今しかない子育ての時期を自分が楽しませてもらっている」と思つて接して下さい。子どもにとってお父さんお母さんに遊んでもらった思い出は一生の宝物になることでしょう。

（あしたば短歌会）

「あしたば」の名に誘われて仲間入り飽きることなき歌詠める日日 原 誠

敬老の日孫からの贈り物スカイツリーを拡大鏡にて追る 壬生 千春

涼しいね話し相手の秋風に背中押されてまたひと仕事 北澤 秀子

紫陽花は夏日の傷を花毬に残して今日も色変えて咲く 毛涯百合子

人は皆それぞれの思い持ちて生く佳きことあれと敬老の日迎ふ 大倉 知江

糸吐きて己が柩を造り終へ蚕はしづかに蛹となりぬ 福澤 岳仙